



2011-12年度国際ロータリーのテーマ

こころの中を みつめよう博愛を 広げるために

RI 会長：カルヤン・バネルジー
2800 地区ガバナー：細谷 伸夫
ガバナー補佐：本多 信昭
会長：武田 寿美男 幹事：伊勢 和正
クラブ会報委員会
委員長：太田 幸一郎
委員：青山 恵一郎 木村 政則
金井 和義 相沢 そのみ
坂入 文人

山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

第1938 回例会

2012-3/6 (火) 天気 (くもり)

□例会場：ホテルキャッスル
□点 鐘：PM12:30 武田寿美男 会長

□司会進行 (SAA)：神崎 祐子さん
□ロータリーソング：「国歌」「四つのテスト」

会長挨拶



皆さんこんにちは。
先週土曜日、蔵王で行われたワールドカップジャンプ女子で中学生の高梨沙羅 (サラ) が、バッケンレコード102.5Mの大ジャンプで優勝しました。これで蔵王の知名度も上がり、スキーヤー、ボーダーや観光客が増えるぞ！とうれしく思いました。

お客様を紹介させていただきます。
ゲストスピーカーは山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会の岡崎雪華さんです。
山形南ロータリークラブの40周年記念事業として、ド

リームキッズへの支援をするわけですが、このことにつきお話を聞きに来てくださいました。講師紹介はのちほど長沢会員より詳しくご紹介させていただきます。

さて今月は識字率向上月間です。
識字は英語のリテラシー (literacy) の訳語ですが、具体的には文章リテラシー、図表リテラシー、計算リテラシーに分けられているとのこと。

日本には文盲はいませんので識字率向上月間といわれてもあまりピンとこないわけですが、アメリカですら成人の14%が日常的識字が出来ないということですから世界ではどれほど多くの人になるのでしょうか？

日本のクラブの支援活動については毎年のロータリーの友3月号に載っておりますのでお読み下さい。

幹事報告 伊勢 和正 幹事

1. 先日2月25日土曜日は1.M.に多数の会員の皆様にご参加いただき誠に有難うございました。御礼を申し上げます。
2. 本日例会終了後理事会が開催されます。理事の皆様よろしくお願いたします。

- 長沢 一好 君 ゲストの岡崎さんに敬意を表しましてニコニコいたします。
斉藤 源七 君 ゲストの岡崎さんとは親戚になりますのでニコニコいたします。
金井 和義 君 皆様のお手元に第一生命のサラリーマン川柳を置かせて頂きました。
創立記念日例会を欠席された8名の方からも5,000円のニコニコをいただきました。ありがとうございました。

委員会報告

親睦委員会 神崎 祐子 君
3月の会員誕生日は、伊藤誠君、松田勝彦君の2名のみなさんです。



□ニコニコBOX 宮舘 順治 君
伊藤 誠 君 誕生日のお祝いありがとうございます。
松田 勝彦 君 誕生日のお祝いありがとうございます。
三沢 寛 君 先月の事故の件では皆様に御心配いただきましてありがとうございます。



例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200



『山形県におけるスポーツタレント発掘事業』

山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会

岡崎 雪華 氏

皆さんこんにちは。スポーツ保健課の岡崎です。今日は県の事業でもあります、スポーツタレント発掘事業山形ドリームキッズについてお話しさせていただきます。よろしくをお願いします。

ドリームキッズ事業はJOC（日本オリンピック委員会）とJIS（国立スポーツ科学センター）との連携した事業です。21年22年の事業内容が認められて、23年度からはオリンピックの第二エンブレムを使用する事が許可されました。スポーツタレント発掘事業というのは全国11の県や町で行われており、地域によっては冬季種目に限定したり、特定の競技のみを行っている地域もあります。中でも福岡は7年という事業実績が有り、多数の日本一になった中学生や高校生を輩出いたしております。

スポーツタレント発掘事業の趣旨



世界で活躍するタレントの輩出

加藤条治、池田めぐみ選手のような、オリンピックなどの国際大会で活躍できる選手を山形で産まれ育った子供達の中から発掘して育成して行きたい。



次世代のリーダーの育成

世界で活躍したアスリート達が山形に帰って来て、地元へ貢献して、山形の子供たちに尽くして行く好循環を作り出して行く。山形で育った選手が他県で活躍するのではなく、山形に戻ってきてもらい、活躍するような好循環にしていきたい。

社会的適応能力、人間性、国際性の育成

将来的には、オリンピックや国際大会などで活躍する選手の育成が目標になります。その際に、山形の代表として恥ずかしくないトップアスリートの育成をして行く。強ければいい、勝てばいい、といった考えではなく、人間性、国際性など子供のうちから身につけられるような指導をしております。

ゴールデンエイジへの展開

中学の保健体育の教科書には必ず発育発達曲線、神経系統は生まれてから5歳頃までに80%の成長を遂げ、12歳でほぼ100%になります。この時期は、神経系の発達の著しい年代で、さまざまな神経回路が形成されていく大切な過程となります。神経系は、一度その経路が出来上がるとなかなか消えませんが、たとえば、いったん自転車に乗れるようになると何年間も乗らなくても、いつでもスムーズに乗ることが出来ることから理解できると思います。この時期に神経回路へ刺激を与え、その回路を張り巡らせるために多種多様な動きを経験させることは、とても大切なことです。この事が後により専門的な種目を選択したときに、覚えが早かったり、怪我をしにくいなどの体作りに役立ちます。ドリームキッズでは小学校3年生を選考の対象にしています。

少子高齢化の中、スポーツにおいてもその影響が出てきております。競技団体の中には練習するのに人数が足りない、練習試合をするのに県外まで遠征しないとできないなどの問題も出てきており、意図的に人材を発掘していく必要があります。また、サッカーや野球などの人気スポーツにはたくさんのスポ小などがありますが、子供たちが本当に自分にあったスポーツを選択できるようにいろいろな種目を体験させてチャレンジさせていきます。毎年30人を選考する予定になっておりますので、最大で150人になる予定でおります。選考には1次選考、2次選考、3次選考を経て30人に絞り込まれております。3年生で選ばれなくても、4年生のときにもう一度チャレンジすることができるようになっており、数値だけでなく、子供たちの動きなども選考の際には考慮され、最終的には親子での面談を行い、がんばれる気持ちを確認してまいります。ドリームキッズに選ばれた後は、シーズンキャンプ（2泊3日）、ショートキャンプ（1泊2日）、ワンデイキャンプ（日帰りの練習会）を行い、その他にも事務局による巡回指導を年に2回実施しております。その他に、スポーツアカデミー事業というものもございます。最終選考に残ったけれども、30人には選ばれなかったけれども、残りの子供たちにも素晴らしい能力があります。その子供たちに対して、希望者には年4回のドリームキッズのキャンプに参加する資格が与えられます。ここでより能力を伸ばしてもらえればと考えております。

30分の限られた時間の中で、ドリームキッズのことをうまく伝えられたか分かりませんが、子供たちのスポーツにかかわっていらっしゃる方がおりましたら、事務局のほうにご連絡をいただけましたらキャンプの見学などもできますので、一緒に子供たちの育成をしていければと思っております。今日は貴重なお時間をありがとうございました。

○本日出席・前回修正出席 **出席率100%ありがとうございました。引き続きご協力お願いします！**

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率	
本日	53名		36名		
前回修正	53名	39名	39名	100%	
他クラブで メイクアップ された 会員	(山形中央) 大久保章宏 (山形北) 坂入 文人 神崎 祐子 (地区) 佐々木吉嗣	寺崎 利彦 布施 富将 門脇 好広 武田 和夫	鈴木 利明 阿部 薫 鈴木 利明	佐々木吉嗣 阿部 浩一 佐々木吉嗣 阿部 浩一	坂入 文人 阿部 浩一 相沢そのみ 鈴木 政康 金井 和義 菊川 明